

## 一、あやのみやよみ 礼宮文仁とひとご命名

新宮さまご誕生七日目を迎えた十二月六日は、宮内庁病院で「浴湯の儀」から「読書鳴弦の儀」へと古式豊かな儀式が行なわれました。

この日、天皇陛下は新宮さまにお名前と称号を贈られ礼宮文仁とご命名。これに先立ち両陛下・常陸宮ご夫妻は美智子さまと礼宮さまをお見舞いになりました。

## 一、一斉検査はじまる

——歳末食品取締

今年もあとわずか——。街も歳末一色です。年末・年始にかけては大量の食品類が作られ販売されますが、それとは逆に人手不足がちとなって来ます。そしていきおい粗悪な食品が市場に出回るおそれもあるシーズンです。

食品衛生の取締も始まりましたが、身体に害になる食品の一扫に一人一人がお互いに気をつけたいものです。

## 一、秩父の夜祭り

——埼玉県秩父

深い朝モヤに静かなたたずまいをみる秩父盆地、この山都は養蚕、機織で知られたところで、今埼玉県秩父市は一年の農事を終えて秩父神社の例大祭を迎えました。

祭ばやしが街に響き、大人も子供も祭装束をつけて通りへ飛び出します。

この祭は京都祇園祭、飛騨高山祭と共に日本三大曳祭といわれ、五穀豊穡家内安全を祈るものです。

鮮やかな金銀系の縫い取が施された幕、地方名工の刀がさえた彫刻。江戸、寛文年間の作はオウが郷土の文化財として秩父市民の心のよりどころでもあるのです。そして江戸歌舞伎の舞台が仕組まれ、地役者の張り切るところです。

祭は夜に入って提灯とボンボリが暗闇に光の祭典をえがき、なかでも屋台が御旅行に到着する直前の急坂は豪快な屋台ばやしに乗って殺気だつまでに興奮したはやし手、曳手によって十トン余の屋台を曳きあげる様は光の一大絵巻を展開するのです。